

# 三石地域マリンビジョン

～人寄ればよろこんぶ三石～

【地域連携が人を呼ぶ 魅力ある漁業・漁村地域の創造】 (平成27年3月改定)

- 拠点漁港のタイプ
- 衛生管理流通拠点漁港
  - 増養殖支援拠点漁港
  - 防災減災支援拠点漁港

- ・対象地域:新ひだか町(三石地区)
- ・地域人口:21,517人(3,476人):R2年国勢調査
- ・漁港:三石漁港(3種)・鳧舞漁港(1種)
- ・漁業協同組合員:96人(R3現在、ひだか漁業協同組合 三石・鳧舞地区)



## 現状と課題

現状

- 雄大な太平洋と秀峰日高山脈を望む景観
- 気候は比較的涼しく、積雪が少ない地域
- 産業は水産業と農業(稲作・軽種馬・肉牛・花卉)が基幹産業
- コンブを使った菓子、酒等、多彩な加工品も豊富

課題

- 1.既存ストックの活用を図った都市交流の推進
- 2.地域内産業の更なる連携・PR推進
- 3.新たな雇用の場の創出
- 4.高齢化対策・担い手確保
- 5.魚価の安定・向上
- 6.三石産水産物の認知度・消費の向上
- 7.つくり育てる漁業による生産の安定性確保
- 8.イカ釣り外来船の誘致による外貨獲得
- 9.操業中の漁業者の避難対策
- 10.冬期や夜間、観光客の安全確保
- 11.衛生管理対応による水産物の付加価値化
- 12.外来船受け入れ体制の強化・係船岸壁の充実
- 13.磯根漁業と沿岸・沖合漁業の共存共栄
- 14.漁港利用のマナー向上・愛される漁港環境の創造

## 地域資源(特徴)

- 旧町名が学名の「ミツイシコンブ」と名馬の産地
- 三石海浜公園を中心に温泉や漁協の直販施設のある道の駅、海水浴場やオートキャンプ場が集積した道内最大の海辺の集客施設が立地
- 海浜公園は、地引き網、コンブ干し等の漁業体験の実施により漁業文化へのふれ合いの場としても機能
- ミツイシコンブをはじめ、サケ、タコ、カレイ、イカ、ツブ等の水産物が豊富で、みつしいしの生産や軽種馬の産地としても有名
- コンブ礁の設置、ウニの種苗放流、マツカワ、マガレイ、ハタハタ、エソボラツブ(真ツブ)、クロソイの中間育成・放流等つくり育てる漁業への取り組みも積極的に実施

## 地域の目指す姿

### ■ビジョンの特徴

後継者対策において最も重要な「魅力ある漁業・漁村地域の創造」を大目標に、水産物の品質向上と地域連携の強化を両輪とした地産地消の推進、外来船誘致による外貨の獲得を図り、人を呼び込み喜びを与えることで地域の活性化を図る。

- ①高齡化・担い手確保の抜本的対策
  - ・就業のきっかけづくりによる魅力ある漁業・漁村地域の形成
- ②美味と安心・安全を核とした地域水産物供給体制の強化
  - ・ブランド力の強化、水産物の安心・安全の確保、三石コンブと日高産昆布の差別化、持続ある生産と安定性確保・三石ブランドの浸透
- ③既存観光施設と地域団結力活用による地産地消の推進・漁業文化の継承
  - ・地産地消の推進、地産地消PR拠点の形成、三石産水産物の認知度向上、魚食の普及、漁業の魅力の継承
- ④ソフト・ハードが連携したイカ釣り外来船誘致による外貨獲得
  - ・地域の人情を前面に出した「おもてなし」の強化、地域の関連産業全体に外貨を獲得
- ⑤災害に強い地域づくりと防災体制の強化
  - ・災害発生時における漁業者や地域住民の安全確保、災害時における水産物流通機能の確保、地域経済への影響を最小限に抑制

## 地域マリンビジョン協議会

- 〈協議会メンバー〉
- ・漁業、商工、観光、行政
- ※協議会の下に3部会設置
- ・後継者対策部会
  - ・衛生管理推進部会
  - ・地産地消推進部会



三石おさかなマップ

## 漁港の将来像

- I.衛生管理流通拠点漁港
  - ・屋根付き岸壁の設置
- II.増養殖支援機能
  - ・泊地の多面的活用(蕃養、増養殖水面の設置)
- III.防災減災支援拠点機能
  - ・施設の耐震化、防波堤の粘り強い化、避難路整備等

## ビジョン実現のための主な取り組み

- ①漁業後継者対策の推進、出前講座の推進、就労環境の改善
- ②衛生管理の推進、三石コンブの品質向上、技術開発、漁業資源維持・増大対策
- ③地域内PRの強化、広域的なPRの推進、観光客向けPRの推進、流通の工夫、ストック機能の活用・新規導入、既存団体・イベントとの連携の強化、魚食普及の推進、海洋性レクリエーション、環境教育の推進、漁業文化の継承
- ④誘致活動の強化、サービスの向上、外来船対応施設の向上
- ⑤防災にかかる体制づくり、防災関連施設整備の推進